

不動産学の魅力

明海大学 不動産学部

第40回



富山 波音
不動産学部3年

グラフィティは悪である。グラ
ファイティは、壁や歩道などの公共の
場所にスプレーやスケッチされた、
言葉、イニシャル、イラストなどで
あり、つまり「落書き」の
こと。それは自分の名前や
メッセージなどを街中に記す行
為から始まった。

世界中の街路に政治的・社会

的批評を描くバンクシーは、グラ
ファイティアーティストと言われ広く
知られている。渋谷や新宿といった
都心でも様々な場所にグラフィティ
が存在する。これを消去するために
税金も使われる。東京都足立区では
「しない・せぬ・置かない」
をスローガンに「落書き110番」
への通報を促し、私有物への落書き

クリエーティブな街並み

都市はグラフィティを許容できる

を巧みに使いこなした、ストリート
アートに迫るレベルのものも存在す
る。時として心を揺さぶられ、共感
することも多々ある。この価値観が
市民に共有されている都市があるこ
とを知って驚いた。

ロンドンにはグラフィティが建物
の所有者によって認められている場
所や、公共の場所で公式に容認され

ているトンネル内の壁が存在する。
リーク・ストリートは公的にグラ
ファイティが容認され、ロンドン最大
のグラフィティ・トンネルとも呼ば
れている。ここでは誰でも合法で自
分を表現できる。グラフィティが存
在しなければ、トンネルは莫大な公
費で取り壊されていたはずだ。しか
し現在、人気の観光地となってい

る。政府は公的な費用
負担や管理をせずに、
新たな都市の魅力を創出したことに
なる。

これに倣って、日本でもグラフィ
ティをストリートアートの一種と位
置づけ、一定の条件下で認められる
街をつくるのはどうだろうか。もち
ろん、私有物や公共物に勝手に落書
きすることは犯罪であり、許される
べきではない。ロンドンの事例のよ

うに、定められた場所、そしてそれ
が社会に対してプラスの効果を与え
ることが条件だ。街に溢れるスト
リートアートは、名の知られるアー
ティストが手掛けている。無名の
アーティストが自分の才能を、世に
問うチャンスを与える街があっても
よいのではないか。評価が低いもの
は上から塗り重ねられ、評価が高い
ものだけが残されていく。そんな個
性溢れるグラフィティが許容されれ
ば、きっと刺激的でクリエー
ティブな街となるだろう。

【教員コメント】

刺激的投稿を評価したい。都市の
本質理解も不動産学には欠かせない
。グラフィティは不快極まりない
違法行為ながら、そこで思考停止し
ないことが都市の魅力を生む。スト
リートアートへの昇華と都市の秩序
は両立できるのか。判断する市民の
センスが問われる。

(小杉学)